

1 日本語初期指導 ワークショップ 提案内容

ワークショップ提案:大蔵守久 ファシリテーター:松波良宏

【1】ワークショップのテーマと内容

初期指導というと単語の説明に終始してしまったり、ずっと平仮名を教え続けたりという光景を見ることが少なくありません。このワークショップに参加される方はそういうことがないと思いますが、そんな指導をしている人に「実は生活単語の指導だけではなく、初期指導と言ってもこんな方法もありますよ。」「平仮名の指導もこんなふうに教えれば効果的だし、会話の指導にもつなげられますよ。」といった提案をする役割を担ってもらえたらと願い、下記のようなテーマを設定しました。

テーマ名	テーマ設定の趣旨
【A】 時間割を通じた日本語指導	時間割の指導は教科名を説明して終わりになりがち。時間割に関係して教えられる他の語彙・初期の文型文法などがないかを言葉マップに整理してから、具体的な指導法や教材を考える。
【B】 「同じ・違う」と「いい・だめ」とを組み合わせた日本語指導	新しい語彙を教えたあとは、既習語と組み合わせて練習することにより、使用場面を拡大させたいところ。この4語の組みあわせで練習場面を広げられないか考える。
【C】 初期指導でも取り入れられる教科用語	「～は～です。」「～に～を～ます。」などの基本文型の練習の時に、教科内容に乗せることができないかを考え、基本文型別に整理する。
【D】 ひらがな学習を嫌がる子どもへの効果的指導法	知恵を出し合って、あの手この手の大全集を作る。また、ひらがな指導の際に使う日本語表現も洗い出し、文字指導をしながら語彙や文型などを耳に入れる方法も探る。

- ①各テーマ、小学生と中学生の2グループに分かれてワークショップを進めます。
- ②指導対象の児童生徒のプロフィールはグループごとに決めて構いません。
* 【C】 は学年を決めず全ての指導文例をピックアップする方法でも結構です。
- ③発表時間が短いので、概要を模造紙にまとめて時間を効果的に使ってください。

【2】タイムテーブル(予定)

- | | |
|---------------------------|-------------|
| ①ワークショップのテーマの説明と進め方について | 1:30 ~ 1:50 |
| ②グループ別討議・発表準備(模造紙1枚にまとめる) | 1:50 ~ 3:00 |
| ③発表(1グループ4分) | 3:00 ~ 4:00 |

- *実際の時間は、当日、①が終わったところでファシリテーターより時間を発表します。
- *提案者である大蔵の教材例は、ワークショップが終わったところでお配りします。

【3】参考

①テーマA「6年生の時間割」の例

	月	火	水	木	金
1	算数	算数	算数	理科	英語
2	国語	国語	国語	理科	総合
3	音楽 家庭	体育 図工	体育	社会	国語
4	家庭	図工	音楽	算数	算数
5	体育	社会	理科	学活	社会
6	委員会 クラブ	総合	道徳		書道

②テーマC 「基本文型」の一例

～は～です。

～は～が～です。

～は～より～です。(比較)

6本で500円です。(単位)

～は～を～ます。(作用・目的)

～は～で～ます。(行為・場所)

～を～に～ます。(変換移動・帰着先)

～に～が～あります・います。(所在)

～に～が～ています。(存続)

～から～ました。(起点・素材・由来)

～から～まで(起点→終点)

～てから～ます。(先行・後行)

～くて～。(性質並列)

～を～と いいます。(命名)

～は～の～です。

～と～と、どちらの方が～ですか。(比較)

～が一番～です。(比較)

～は(時間)に～ます。

～で～ます。(道具・手段・原因)

～へ～ます。(移動・方向)

～は～に～あります・います。(所在)

～が～ています。(進行)

～を～ています。(持続)

～から～に～。(起点→方向)

～て～ます。(先行・後行)

～に・～くなります。(変化)

～と～ます。(帰結)

～が～れる・られる(受身・自発)